

最新鋭機導入による農家の労力軽減と他品目への展開

事業名：経営構造対策事業（平成13年度認定）
 地区名：岐阜県白川町佐見地区
 事業主体：佐見茶生産組合
 施設名：農畜産物処理加工施設 製茶プラント一式（H13）
 事業費：98,019千円（国費：46,675千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：佐見茶生産組合
- (2) 構成員：組合員 83名
- (3) 設立年月日：昭和63年4月1日
- (4) 業務内容等： 荒茶及び再製茶の共同加工と共同販売
 茶園栽培管理と病害虫共同防除の指導
 加工技術の研究・普及に関すること
- (5) 連絡先：岐阜県白川町役場
 0574-72-1311
<http://www.town.shirakawa.gifu.jp>

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

傾斜が強く、かつ小区画不整形な茶園が多く、茶園管理に大きな労力が費やされており、農家の高齢化も進行している。また、佐見地区で使用していた製茶機械は、耐用年

整備施設

作業風景



数を過ぎ、作業中の大きな故障も考えられたため、スムーズな製茶作業を行うためにも、最新式のFA機械の導入し、効率的な農業を推進することが急務であった。

(2) 取組概要

平成13年度に経営構造対策事業により施設整備を図り、加工の省力化、荒茶の品質向上及び茶園管理を重点的に行っている。また、担い手となる認定農業者の育成確保では目標の4人は達成しているが、更に後継者の育成を図りたい。

平成15年度の年間生葉処理量は70.9tであり、目標の46tを大きく上回る結果となっている。

また、スムーズな製茶作業が可能となり、茶生産農家の労力が軽減されたことによって、その労力がトマト栽培等の他の農業へ向けられ、多面的な農業経営が可能となり、更なる農家の所得向上が図られている。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加率 %	計画時 (ha)	目標 (ha)
1	4	400.0	2.6	2.0	(36.7%) 29.7	(48.4%) 39.2	11.7	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

家族経営協定の締結による経営体の機能強化		新規就農者の確保	
計画時(戸)	目標(戸)	計画時(人)	目標(人)
0	1	0	3